

元気に な～れ 421

認知症サポーター養成講座について
～ 受講希望者を募集しています！ ～

今月は 社会福祉士 畑山 賢二です

日本における65歳以上の認知症有病者は、平成24年では「7人に1人（有病率15.0%）」となっており、令和7年には「5人に1人（有病率20.6%）」と見込まれ、その罹患者の拡大が社会問題化しています。これは本町においても例外ではなく、介護認定などの資料から確認される状態像の他、現場の実践からも明らかな増加が見込まれます。

認知症の問題について最近では少し“耳にタコ”状態になりがちですが、決して他人事ではありません。認知症になったとき、記憶の障害から襲われるかのような「忘れないように…」「間違えないように…」などという強い不安、焦り、混乱などを常に抱えて生活していかなければなりません。その精神的な辛さや大変さは計り知れないものがあります。

認知症を理解し、より身近に感じてくれて困った場面に助けの手を差し伸べてくれる方がいたら不安や焦りは少し軽くなることでしょう。

▼認知症サポーターとは

認知症を正しく理解し、その生活する地域で認知症の方に対して偏見なく、さりげなく見守りしながら手助けしてくれる役割を担います。だからと言って何か特別なことを行うものではなく、普段の生活の中で思いやる気持ちで認知症の方やその家族と接してくれる方です。

▼認知症サポーターになるためには

「認知症サポーター養成講座（約1時間半）」を受講し、認知症に関する基本的な学習をします。受講費用は原則無料です。

講座を受講すると、認知症サポーターである目印となる「オレンジリング」（オレンジ色のゴムのブレスレット）が配布されます。



▼認知症サポーターに期待されること

- ・ 認知症を正しく理解し、偏見をもたない。
- ・ 認知症の方や家族に対して温かい目で見守る。
- ・ 近隣の認知症の方や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから支援する。

▼認知症サポーター養成講座の開催について

今年度の開催を予定しています。職場や地域などで高齢者と接する機会が多い方には特にお勧めします。受講を希望される方は下記までご連絡ください。



【問い合わせ先】 保健福祉課 地域包括支援センター
☎0139-55-4460